

支え合うところあふれるまち くるめ



くるめ福祉

2024

1

No.189

発行 社会福祉法人 久留米市社会福祉協議会

はじまりは ごはんから



※関連記事は4ページ



市社協ホームページ

INDEX

- 新年のご挨拶
- 災害後もつながりつづける
- 地域の活動紹介します
- ボランティア活動保険

のぞいてみよう!



新年のあいさつ

久留米市社会福祉協議会
会長 中島 年隆



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中は、本会が取り組んでおります地域福祉活動の推進にご理解とご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

昨年を顧みますと、7月の大雨により土砂災害や浸水被害が発生したことで、市の要請に基づき「久留米市災害ボランティアセンター」を開設しまし

た。延べ約8000人のボランティアに土砂のかき出しや家財の搬出など、被災者の生活環境の回復に向けた活動を行なっていただきました。

さらに、この水害を機に被災者一人ひとりの被災状況や生活状況の課題等を個別の相談等により把握できました。また、必要に応じ専門機関や関係者と連携しながら、課題等の解消に向けて継続的に支援することにより、被災者の自立・生活再建が進むよう寄り添った支援を行なっております。

さて、近年の地域福祉を取り巻く状況は、少子高齢化や人口減少が進み社会環境は大きく変化し、社会的孤立、ひきこもりや虐待、生活困窮、さらに地域における関係性の希薄化など様々な課題が顕在化しています。また、最近の経済状況

は、収入の減少などに加え、記録的な円安による物価高騰が家計を圧迫しており、深刻な問題となっております。

このような中、本会では、本人や世帯の複合化した生活課題に対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業を推進しています。

すべての人が住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせるよう人と社会がつながり、一人ひとりが役割や生きがいをもって、互いに支え合いながら暮らせる「地域共生社会」の実現に向けた様々な事業の取組みを進めてまいります。

本年も住民の皆さま、そして関係団体や行政と連携しながら、地域福祉の積極的な推進を図り、「支え合うところあふれるまちくるめ」の実現を目指してまいります。

本年もなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「くるめ福祉」アンケート



郵送やメールでも引き続き受け付けています。
抽選で5名様に500円分のクオカードが当たります。
詳しくは7ページをご覧ください。

Webで回答できるようになりました!

- 1 年代をリストから選んで回答してください。
- 2 印象に残った記事をリストから選んでください(リストにない場合は入力できます)。
- 3 その他、質問に対して回答を入力いただき、最後に送信ボタンを押してください。

1. 年代を教えてください。*

30代

~10代

20代

✓ 30代

40代

50代

2. どの記事が一番印象に残りましたか?

答えの選択

1P 表紙

2P 新年のごあいさつ

3P 今もつながりつづけています

4~5P 地域の活動紹介します~地域活動レポート~

3. 内容やデザインなど、本紙を読んでお気づきの点があればお寄せください。

回答を入力してください

4. クオカード(500円分)の抽選に応募される方は、氏名、住所を記入してください。

回答を入力してください

送信



この二次元コードをスマートフォンで読み取ってください!

さっそく回答

7月の水害から半年

今もつながりつづけています

災害ボランティア

市社会福祉協議会が市との協定に基づき、昨年7月11日に開設した災害ボランティアセンターは、被災者からの依頼が収束し、ニーズへの対応完了の目途が



土砂出しの様子

立ったことから10月31日をもって閉所しました。これまでご協力をいただいたすべての関係者の皆さまに心よりお礼申し上げます。

継続的な関わり

生活環境の回復に向けた活動が終了した後も困りごとに対して継続した支援活動を行なっています。被災者に限らず「今後の生活が不安」「どこに相談していいのかわからない」などの困りごとや地域福祉活動に関することなど、皆さまからのご相談も受け付けています。

相談の内容に応じて、市

役所や生活自立支援センター、障害者雇相談支援センター、地域包括支援センター、市民活動団体、民生委員などとも連携し、心配ごとの解決に向けて支援を行なっています。

また、被災地域への訪問やボランティアさんとの会話をきっかけに困りごとや心配ごとがないかを伺い、市役所の窓口への同行支援や福祉サービスの利用の働きかけなど伴走的な支援を行なっています。

地域とのつながりをつくるために地域住民にも働きかけ、被災者が転居後も安心して暮らすことができるとような地域づくりを支援していきます。

どのような支援をしているの？

事例1

ボランティアさんから、「依頼者が足腰を痛めていて心配」と相談を受けました。訪問すると、立ち上がりにも苦労されていました。後日、地域包括支援センターの職員と訪問し、介護保険サービスの申請につなげました。



支援の方法について関係機関とも協議します

事例2

被災し、別の校区に転居され、新しい環境で戸惑っていた人を、市社協が地域住民とつなぎました。本人はわからないことを教えてもらいながら、少しずつ地域との関係性をつくっていかれています。



地域の活動紹介します ～地域活動レポート～

久留米市では、「支え合うところあふれるまち くるめ」の実現を目指し、様々な活動が展開されています。今回は、校区の取組みに焦点をあてて、特色ある活動についてご紹介します。

朝ごはんを食べて、元気に一日を過ごそう!

実施主体 荒木おにぎり食堂の会

「朝ごはんをしっかりと食べていない子が増えている」と、小学校の先生の話聞いた荒木地区主任児童委員の廣重さん。「子どもたちのために食堂をやってみたい」と周囲に相談したところ、想いが重なりました。ボランティア、荒木農家盛り上げ隊、校区社会福祉協議会などの多くの人の協力のもと、昨年8月、「おにぎり食堂」を立ち上げました。場所は、小学校近くの教会を借りています。

「おはよう」と明るく子どもたちを迎え、「いってきまーす」と元気に登校していく子どもたちを送り出します。日々の生活にメリハリをつけるきっかけになればと、毎週月曜日、朝7時から開催。食材は寄付やフードバンクを利用するとともに、活動継続のため、市子ども食堂事業費補助金も活用。

廣重さんは「ここに来るようになって、子どもたちの表情が変わり、地域で会うと『また行くね』と声をかけてくれることが嬉しい」と笑顔で話されていました。

地域の大人と子どもがふれあい、食事や会話を楽しみ、お互いにとって活力を得る場になっています。



にぎやかに「いただきます!」



看板とのぼりが目印

俺たちも楽しく集まろう

実施主体 青木校区社会福祉協議会

青木校区では、月に2回、金曜サロン※を実施していますが、男性の参加が全くないことが気がかりでした。

そこで、男性が多く参加されている津福校区の雀健サロンじゃんけん(麻雀で健康を目指すサロン)を参考に、昨年5月に麻雀を楽しめる新たな取組みを始めました。麻雀の「雀」の字を取って「青木すずめの会」と名付け、月1回(第3金曜日)、金曜サロンと一緒に開催しています。

また、サロン参加者に振舞われていた評判の手作り料理を、すずめの会でも参加費500円で、昼食としていただけます。金曜サロンの参加者と一緒と同じ会場で食べるので、地域でのふれあいも深まっています。

参加者からは、「月に1回というのがちょうどいい」「ストレス解消にもなる」との感想が聞かれました。時に真剣に、時に笑いを交えて麻雀を楽しんでおられ、和気あいあいとした雰囲気が印象的でした。

※サロン…誰もが気軽に集える場所



頭の運動だけでなく、指先の運動にもなります



もちろん賭けは無しです

安心して避難できるように

実施主体 小森野校区まちづくり振興会、主任児童委員、重心分科会

主任児童委員が、「医療的ケア※が必要なお子さんの避難を検討したい」とまちづくり振興会や校区社会福祉協議会等に呼びかけ、お子さんが実際に参加しての避難訓練につながりました。

まず、呼吸器等の資機材を含めた本人の移動や、停電した場合について検討。「子育てサロンのマットが使える」「発電機は2台ある」「かかりつけの病院や関係機関に助言をもらおう」等、様々な意見が出ました。

当日は、約30人が参加。本人と家族を迎えに行く時は、救急救命士の資格を持つ人が同行し、避難先まで移動、支援者が受入れ準備を行うといった流れです。

「どうすれば動線がより確保でき、本人に負担なく支援できるか」「家庭、校区で他に備えておくものは何か」等の意見を出し合い、訓練の振り返りもしました。

校区内には他にも医療的ケアが必要なお子さんがいることから、「なにか力になれるよう、非常時も非常時以外もできる支援はないか、検討したい」と話されていました。



実際に訓練しておくことでお互い安心です



関係機関の参加でより安心して実施できました

後日談

この訓練をきっかけに、ご家族は地域の人とのつながりができ、校区体育祭にも参加。今度は友達も誘って、校区文化祭にも参加したいと楽しそうに話されていたそうです。

※医療的ケア…日常生活を営むうえで^{たん}の痰の吸引や、経管栄養などの医療的処置

“安心”のために ～日常生活自立支援事業の生活支援員～

皆さん、生活支援員をご存知ですか？

認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力が不十分なために日常生活でお困りの方を対象に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いをして、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにサポートする日常生活自立支援事業があります。

この事業を利用している人に生活費をお届けしたり、公共料金や施設料などの支払いのお手伝いをしたりするのが生活支援員です。



県内の生活支援員研修でもハーモニカを披露

現在、久留米市では、18人の生活支援員の皆さんが活動されています。

利用者のご自宅や施設を訪問し、お金をお渡しするだけでなく、生活の様子を聞いたり、世間話をしたり…。中には、特技のハーモニカを披露し、音楽をとおして交流されている生活支援員もいます。

生活支援員は、利用者の皆さんが地域で安心して生活できるように活動しています。

生活支援員の声

- 「会うのを楽しみにしていた」と言ってもらえると、こちらも嬉しくなります。
- 自分もいつか助けてもらわないといけなくなる。できるうちは、周りの人のために何かできることをしたいと活動を始めました。

市総合福祉会館

自主クラブ会員募集中!

現在22団体のクラブが、会館において活動しています。興味のある人は一度参加してみませんか?

詳しくは市総合福祉会館までお問合わせください。

問合わせ

市総合福祉会館
久留米市長門石1-1-32
TEL0942・38・9288
FAX0942・38・9289



カラオケ睦美会



ひまわりダンス

サロンサポーター入門講座 受講者募集

誰もが気軽に集える場所(サロン)に出向き、歌やゲーム、レクリエーションを行うサロンサポーターとして活動するボランティア入門講座を行います。興味のある人はぜひご参加ください。

【日 時】2月13日(火)・20日(火)

両日とも9時30分~15時30分

【場 所】市総合福祉センター 大会議室

【対 象】

- ・久留米市在住で2日間ともに参加できる人
- ・受講後サロンサポーターとして活動できる人

【参加費】認定料(テキスト代金)1,600円

【定 員】20名

【申込締切】1月31日(水)

【申込方法・問合わせ】

市社会福祉協議会
ボランティアセンター(下記)



ボランティア活動保険の案内

ボランティア活動保険とは、ボランティアが活動中の事故によりケガをした場合や、他人に損害を与えたことにより賠償問題が生じた場合に補償する保険です。1年度の保険料は掛け捨てで、350円のプラン(基本プラン)からあります。

なお、令和5年度にボランティア活動保険に加入されている人も、3月31日で補償期間が終了します。改めて加入の手続きが必要です。

市社会福祉協議会ボランティアセンターまたは市社会福祉協議会各支所にて、加入手続きをお願いいたします。

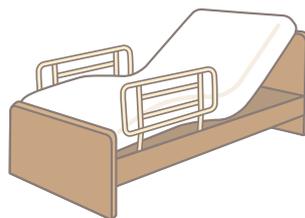


福祉機器更新のお願い

市社会福祉協議会では、市内にお住いの高齢・障害・傷病等で、福祉機器が必要な人に、介護用電動ベッド、車いす等を貸出しています(ただし、施設や病院に入所・入院されている人や介護保険等の公的サービス利用が可能な人は除きます)。

貸出期間は、貸出日から翌3月または翌9月のいずれか早い月までで、更新手続き(半年に1回)を行えば延長できます。

次の更新時期は3月となりますので、市社会福祉協議会から福祉機器を借りている人は更新の手続きをお願いいたします。



問合わせ

市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL0942・34・3035 FAX0942・34・3090
メール:heartful@heartful-volunteer.net

「芳志ありがとうございます」が届きました

令和5年9月1日から11月30日まで

寄付者一覽(敬称略)

正 会 員

京町校区社会福祉協議会
小森野校区社会福祉協議会
金丸校区社会福祉協議会
大橋校区社会福祉協議会
船越校区社会福祉協議会
竹野校区社会福祉協議会

賛 助 会 員

《個人会 員》
渡辺すみ子 (日吉町)
熊丸 弘一 (梅満町)
執行 初雪 (長門石町)
尋木 洋子 (津福本町)
森光多恵子 (花畑)
大石マサ子 (太郎原町)
川嶋シツ子 (荘島町)

社会福祉事業寄付金

ウエダ株式会社
植田 由美 (中央町)
田中 安子 (津福本町)
認定NPO法人
日本車椅子レクダンス協会 (梅満町)
久留米大学文学部同窓会 (御井町)
金島校区社会福祉協議会 (北野町)
三潯地区金融協会(福岡県信用組合、福岡銀行、筑邦銀行、大川信用金庫) (三潯町)
ライオンズクラブ (福岡市中央区)
カレー&ラーメン交流会 (福岡市中央区)
社会福祉法人
日本傷痍者更生会 (遠賀郡岡垣町)

物 品 寄 付

認定NPO法人
日本車椅子レクダンス協会 (梅満町)

香典返し寄付金

井上 健 (故悦子) (西町)
林田 朋子 (故浩暢) (田主丸町)
中嶋 幸子 (故宮崎洋子) (筑紫野市)

高原町赤十字奉仕団 (宮崎県西諸県郡高原町)

【お詫びと訂正】
くるめ福祉10月号に掲載しました次の記事の中で、お名前前に誤りがありました。
フペーシ(賛助会員)《法人会員》の寄付者名
(誤)JA久留米
(正)JAくるめ
市民の皆さま及び関係各位にお詫びするとともに、(誤)に訂正させていただきます。

第十八話 手話の花咲く場所 平本麗之介



今年もよろしくお祈りします

Web回答

「くるめ福祉」アンケート

- 地域や福祉の情報がわかりやすく伝わる
 - 目をひく紙面、読みやすい記事
- そんな「くるめ福祉」とするため、皆さんの声を聞かせてください。

【質問】①どの記事が一番印象に残りましたか？
②内容やデザインなど、本紙を読んでお気づきの点があればお寄せください。

アンケートをお寄せいただいた人の中から抽選で5名様に500円分のクオカードを差し上げます。なお、当選者の発表は、クオカードの発送をもって代えさせていただきます。



【送付締切】1月31日(水)必着
【送付方法】住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、郵便又はメールでお寄せください。
【送付先】
(郵 送)〒830-0027 久留米市長門石1丁目1番34号 久留米市社会福祉協議会「くるめ福祉広報係」宛
(メー ル) 題名に「くるめ福祉広報係」と記載 heartful@heartful-volunteer.net

福祉機器をいただきました

昨年10月30日に認定NPO法人日本車椅子レクダンス協会様より車いすを2台、12月2日に御井校区の和太鼓グループ「御井鼓舞組」様より車いす1台をご寄贈いただきました。

市民への貸し出しや福祉学習などに活用させていただきます。ありがとうございました。



日本車椅子レクダンス協会様寄贈



御井鼓舞組様寄贈

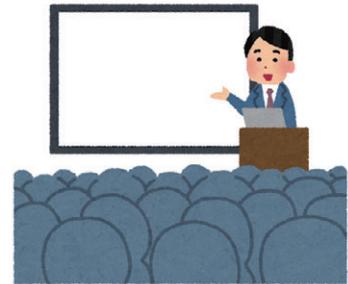
第51回久留米市社会福祉大会 & 第45回久留米市ボランティアフェスティバル

標記について下記のとおり合同開催いたします。

久留米市社会福祉大会は、社会福祉の増進のため献身的な活動を続け地域福祉の向上に貢献された個人・団体を顕彰しその功績を讃えるものです。

久留米市ボランティアフェスティバルは、ボランティア活動を推進する諸機関・団体の協働により開催されるボランティア活動の情報発信、情報交換・交流の場とするものです。

当日は、ボランティア団体による活動紹介や、バザーも開催されます。皆さまのご来場をお待ちしています。



福祉大会 ボラフェス

【日時】2月4日(日)12時～

2月4日(日)11時～

【会場】石橋文化センター共同ホール、野中生涯学習センター

- 【内容】
- 講演
 - シンポジウム
 - 式典(顕彰関係)
 - ボランティア団体によるバザー
 - ボランティア団体活動紹介
 - 展示 ●体験コーナー
 - ボランティア相談コーナー等

問い合わせ

市社会福祉協議会
総務課・地域福祉課
TEL0942・34・3035
FAX0942・30・3090



けんけつちゃん コラム

1月は

「はたちの献血」月間です

「はたちの献血」キャンペーンを、今年も1月1日から2月29日までの2か月にわたり全国で展開します。

本キャンペーンは、献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤の安定供給を確保するため、成人年齢は変わりましたが、成人式を迎える「はたち」の若者を中心として広く献血に関する理解と協力を呼びかけるものです。10代～30代の若年層の献血者数はこの10年で約32パーセントも減少しています。今後も血液を安定的に届けるためには、今まで以上に若い世代の献血へのご理解とご協力は不可欠です。

献血は命を救う身近なボランティアです。ぜひ、この機会にご協力をお願いいたします。

市献血推進協議会(市社会福祉協議会内)
TEL0942・34・3035 FAX0942・34・3090
メール:k-syakyo@heartful-volunteer.net

1～3月校区別献血日程予定表

月	校区・地域	日程	場所	受付時間
2	草野	1日(木)	草野校区コミュニティセンター	10:00～11:30 12:30～15:00
	大橋	6日(火)	大橋校区コミュニティセンター	10:00～12:30 13:30～15:00
	三潁地域	16日(金)	三潁保健センター	10:00～12:00 13:00～15:30
	南薫	11 +8日(日)	南薫校区コミュニティセンター	9:30～12:30 13:30～15:00
	城島地域	20日(火)	城島げんきかん	10:00～12:30 13:30～15:30
	西国分	27日(火)	西国分校区コミュニティセンター	10:00～11:30 12:30～15:30
3	田主丸地域	1日(金)	(株)野口機工	10:00～12:00
			JAにじ 田主丸支店	14:00～16:00
	御井	8日(金)	御井校区コミュニティセンター	10:00～12:30 13:30～15:00
	北野地域	8日(金)	コスモすまいる北野	10:00～12:00 13:00～15:30
	合川	15日(金)	ゆめタウンく留米	10:00～12:00 13:15～16:00
田主丸地域	19日(火)	田主丸総合支所	10:00～13:00 14:00～15:30	

※1月1日～3月31日までの予定を掲載しています。1月の予定はありません。

※掲載している日程は変更となる場合があります。

詳しくは市社会福祉協議会ホームページ等をご確認ください。

この広報紙は、共同募金の配分等を受けて作成したものです。

